

徳山ダム建設事業に関する報告

平成18年3月3日

独立行政法人水資源機構 中部支社

目 次

．第3回事業評価監視委員会（平成18年1月23日）以降の経過	1
．工程管理	2
．山林公有地化事業について	3
．集団移転地文殊地区等について	4
．揖斐川水源地域ビジョン策定会議について	5
．徳山ダム廃棄物対策検討委員会について	6～7

・ 第3回事業評価監視委員会（平成18年1月23日）以降の経過

平成18年

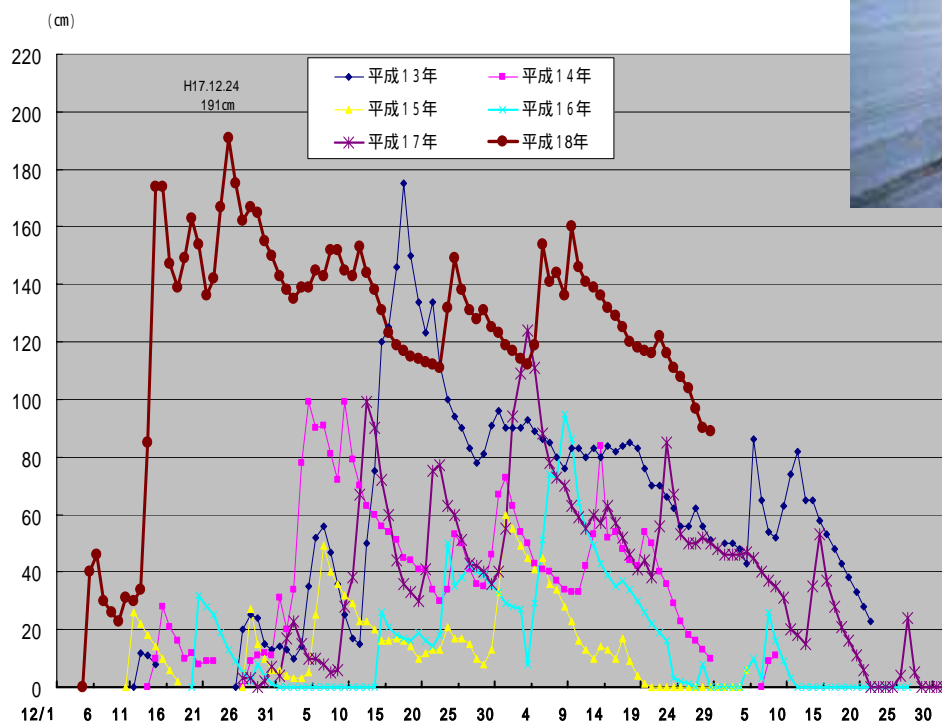
- 2月17日 第4回揖斐川水源地域ビジョン策定会議を開催し、「揖斐川水源地域ビジョン(仮称)」の中間的な取りまとめの方向について審議
- 2月23日 第2回徳山ダム廃棄物対策検討委員会を開催し、廃棄物の調査結果及び対策方針(案)について審議
- 2月23日 第14回集団移転地文殊団地地盤沈下対策部外の住民説明会を実施
- 2月27日～ 集団移転地網代地区について、建物等の補修前調査を開始

． 工程管理

工事の現況

- ・ 昨年12月5日からの例年にない降雪により、工事を休止して場内道路等の除雪作業を実施してきたところであるが、工事再開の準備が整い安全性が確認された一部の工事について再開したところ。

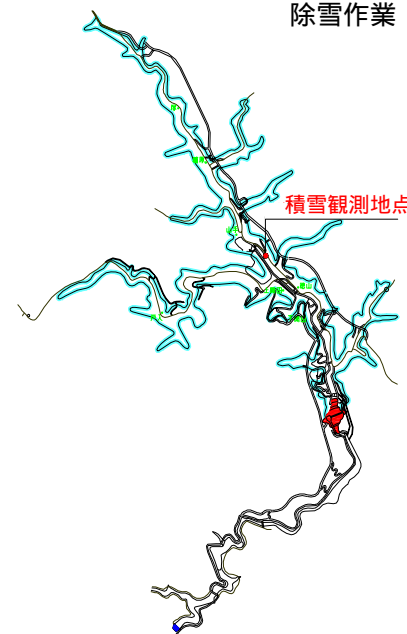
平成13～18年積雪深(沢地点)



除雪作業



堤体及び洪水吐き



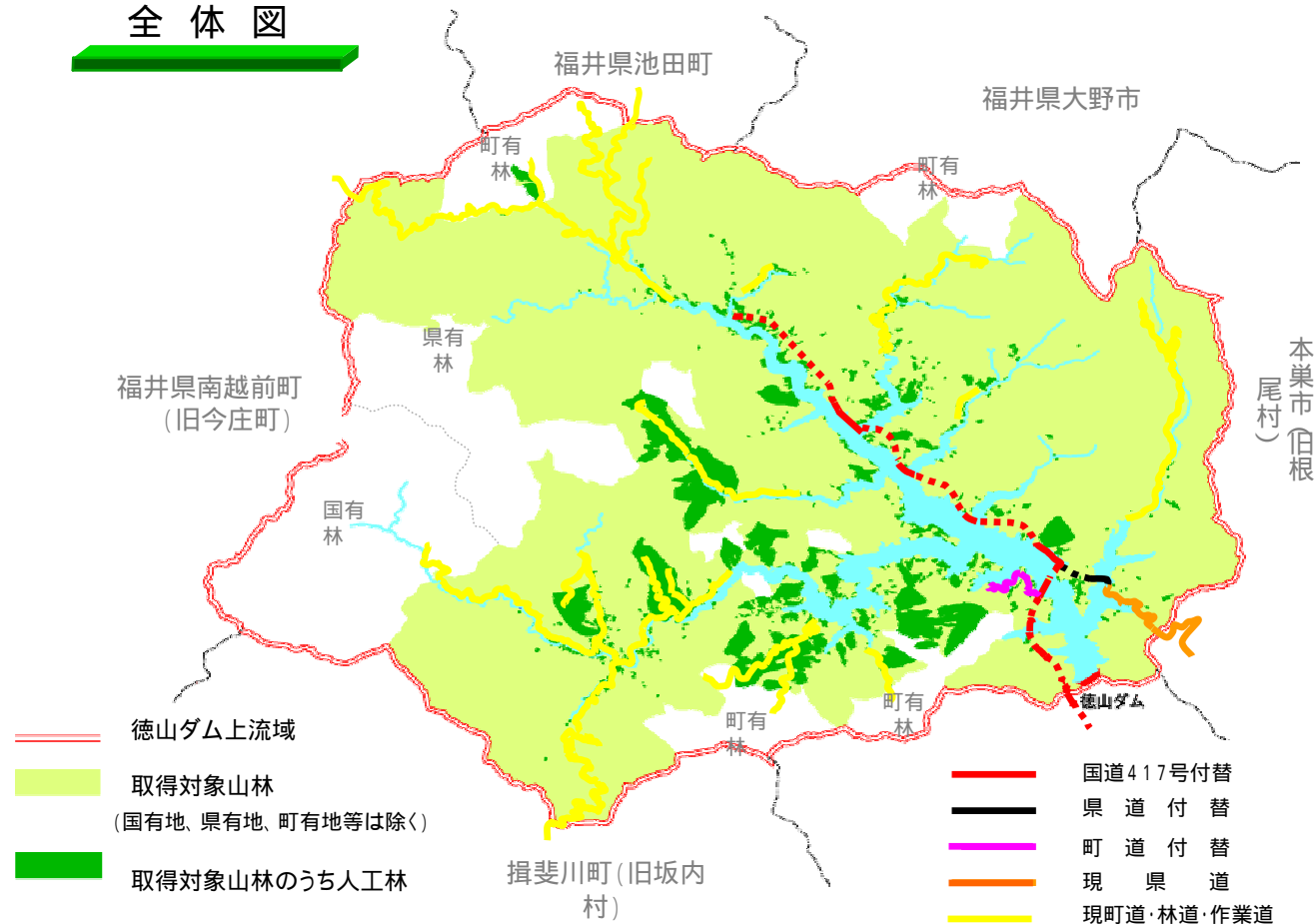
洪水吐き

山林公有地化事業について

- 平成17年10月31日に、岐阜県、揖斐川町及び水資源機構の三者間で山林公有地化事業に関する基本協定を締結した。
- 岐阜県主催の山林公有地化事業に関する住民説明会が平成17年11月13日と11月20日に開催され、平成

18年2月5日以降、具体的に用地買収契約を行うための用地説明会が開催されているところである。

全体図



・ 集団移転地文殊地区等について

集団移転地文殊地区地盤沈下対策部外の現状報告

- ・ 水資源機構としては、1日も早い問題解決に向けて、機構の対応方針を住民の方々にご理解いただけるよう、本巢市及び文殊団地自治会、文殊団地宅地問題対策協議会の両会長との間で誠意をもって協議を継続してきている。
- ・ 平成18年2月23日、文殊団地自治会の住民説明会を開催し、地盤沈下対策部外における機構の対応方針に基づく建物等の補修前調査の提案および地盤沈下対策部における建物基礎の撤去について説明した。

集団移転地網代地区の現状報告

- ・ 水資源機構は、「集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会」委員の指導、助言のもと、宅地造成時の調査・設計・施工の状況、既往調査結果（動態観測調査）及び今回実施した建物等の損傷状況調査結果、家屋基礎のレベル調査結果を踏まえ、損傷が生じた原因の推定及び今後の対策についてとりまとめ、平成18年1月19日(木)に住民説明会を開催した。
- ・ 平成18年2月27日（月）から各戸毎の補修前調査を実施中である。
- ・ 補修前調査が完了した家屋から補修計画を決定し、補償交渉を実施していく。

揖斐川水源地域ビジョン策定会議について

- ・ 徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「揖斐川水源地域ビジョン」(仮称)を策定することを目的として、「揖斐川水源地域ビジョン策定会議」を設置し、平成17年10月7日に第1回策定会議を実施。
- ・ 平成17年11月15日に第2回策定会議・現地視察を実施。
- ・ 平成17年12月22日に第3回策定会議を実施。
- ・ **平成18年2月17日に第4回策定会議を実施。**
- ・ **今後、平成17年度内に中間的に取りまとめ、平成18年度中にビジョン策定予定。**

(1) 第4回策定会議(平成18年2月17日)開催状況

- ・ 第4回策定会議においては、「揖斐川水源地域ビジョン」(仮称)の中間的な取りまとめの方向について、ご議論を頂いた。
- ・ 今年度中にご議論頂いた内容を中間的に取りまとめる予定である。



第4回策定会議

徳山ダム廃棄物対策検討委員会について

- ・ 第1回徳山ダム廃棄物対策検討委員会（平成17年11月16日開催）で審議された調査手法に基づき、犬谷、下開田、上開田、戸入、門入、本郷、櫛原、塚の8カ所において、廃棄物が埋設された範囲、量及び廃棄物・周辺土壌・地下水の汚染状況を把握するための調査、分析を実施。
- ・ 第2回徳山ダム廃棄物対策検討委員会を平成18年2月23日に開催し、調査結果（一部の試料は分析中）、廃棄物の処理方針及び今後のスケジュールについて審議。

（1）第2回委員会の主な審議内容

調査結果について、以下のとおり内容を審議し指摘した。

1) 犬谷・下開田について以下の点を把握すること。

- ・ 盛土の透水性の把握。

- ・ 地下水位の変動、特に河川水位と降雨との関係についての把握。

2) 鉛が検出している地点があったが、鉛の化学的形態により、処理方法を選択できるので形態を把握できる分析を実施すること。

処理方針について、以下のとおり内容を審議し指摘した。

1) 上開田・戸入・門入・櫛原・塚地区については、掘削除去方針で了解するが、処理方法検討時には二次汚染を考慮すること。

2) 犬谷、下開田については、調査結果を待つこととするが、存置する対策を検討する場合には、リスクの評価やモニタリングの方法及び貯水池運用方法などについて、検討すること。その上で、掘削除去による対策等とコスト比較なども行って、総合的な検討を行うこと。

(2) 今後のスケジュール

第1回(H17.11.16)	・現地視察、経緯・状況の説明、調査手法の検討、今後のスケジュール
第2回(H18.2.23)	・調査結果の説明、処理方針の検討
第3回(H18.4)(予定)	・調査結果の説明、処理方針、処理方法の検討
↓	・対応(処理工事等)の実施
第4回(H18.8)(予定)	・処理終了確認、委員会最終報告書



第2回 徳山ダム廃棄物対策検討委員会